

関西大学第一高等学校・第一中学校100周年記念式典・祝賀会挙行

次なる時代に向けて躍進する



関西大学第一高等学校・第一中学校は今年、記念すべき創立100周年を迎えた。前身である関西甲種商業学校が「商都大阪にふさわしい若い商業人を育てること」を目的に創立されたのは1913(大正2)年。両校はその長い歴史の中で「清い精神と高い気品」「自由澁刺なる精神」の校風を築き上げ、これまでに2万8000人以上の生徒を社会に送り出してきた。

創立100周年の節目を迎えるにあたり、11月2日、なみはやドーム(大阪府立門真スポーツセンター)・メインアリーナにて記念式典が執り行われた。第1部では、あいさつや祝辞、祝電披露などが行われ、橋本定樹第一高等学校・第一中学校校長は「『START FOR NEXT』次の100年も生徒達と共に成長し続ける第一中学校・第一高等学校でありたい」と式辞を述べ、100周年を機に更なる発展を誓った。続く第2部では、吹奏楽部による演奏やカイザー部チアリーディングの演舞が披露されたほか、サプライズゲストとして、卒業生でお笑い芸人のジャルジャル(後藤淳平さん、福徳秀介さん)が登場し、場内は大いに盛り上がった。その後、ホテルニューオータニ大阪・鳳凰の間にて祝賀会も開催され、鏡開きの後、来場者の懇親が図られた。

当日、式典には来賓、卒業生、保護者、生徒、教職員ら約4000人、祝賀会には約400人が参加し、盛大な会となった。



橋本定樹校長の式辞



なみはやドーム・メインアリーナで行われた記念式典の様子

● マスコットの紹介

「カイザー関大」から皇帝ペンギンを連想してマスコット化しました。顔の模様が「100」になっています。体の色はスクールカラーの紫紺です。



大阪教育大学、近畿大学と連絡協議会を発足 国私立の垣根を越えた連合教職大学院設置に向けて



8月6日、関西大学は大阪教育大学及び近畿大学と共同して2015年4月に「連合教職大学院」を設置することを目指し、検討を開始することを発表、同日3大学の学長による連絡協議会を発足、共同記者会見を行った。国立大学と私立大学が共同して教職大学院を設置するのは、京都の8大学の連合による京都教育大学連合教職大学院に次いで全国で2例目。

大阪教育大学天王寺キャンパスに、教員免許取得の学部卒学生と現職教員を対象とするコースを設定、定員は30人となる見込み。既存とは異なる新しい教職大学院において、高度な専門的能力及び優れた資質を有する教員の養成を行うことを目的としています。

◀「連合教職大学院」設置を目指し、発足した連絡協議会での共同記者会見の様子

本学が申請した経営・研究戦略に基づく4件のプロジェクトが 文部科学省平成25年度「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に採択

文部科学省が重点的かつ総合的に補助を行う平成25年度「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に、本学より申請した4つのプロジェクト「国際的な文化財活用方法の総合的研究」「コンピュータホログラフィ技術を中心とした超大規模データ処理指向コミュニケーション」「地域資源の高度利用を図るバイオリファイナリーの基盤形成とその実用化」「次世代ベンチトップ型シーケンサーによるゲノム・エピゲノム解析に基づく統合的健康生命研究」が採択された。本事業は平成19年度で新規募集を終了

した高度化推進事業の後継事業として発足され、大学の経営戦略や研究戦略に基づき、各大学が特色を活かした研究を実施するために、国がその研究基盤の形成を支援するもの。募集は「研究拠点を形成する研究」「大学の特色を活かした研究」「地域に根差した研究」の3つの研究観点で行われ、本学からはこれまでに19プロジェクトが「研究拠点を形成する研究」として選定された。これは全国第1位の実績を誇る。

▼文部科学省・平成25年度「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に採択された4つのプロジェクト

研究組織名	研究代表者(申請時)	研究プロジェクト名
国際文化財・文化研究センター	文学研究科 教授 吹田浩	国際的な文化財活用方法の総合的研究
ホログラフィ技術ユニット	先端科学技術推進機構 システム工学部 教授 松島恭治	コンピュータホログラフィ技術を中心とした超大規模データ処理指向コミュニケーション
地域密着型バイオリファイナリーユニット	先端科学技術推進機構 化学生命工学部 教授 片倉啓雄	地域資源の高度利用を図るバイオリファイナリーの基盤形成とその実用化
ゲノム・エピゲノム研究ユニット	先端科学技術推進機構 理工学研究科 教授 老川典夫	次世代ベンチトップ型シーケンサーによるゲノム・エピゲノム解析に基づく統合的健康生命研究

第36回関西大学統一学園祭を開催 「Jump out! 関彩大!!」

2013年度の関西大学統一学園祭が、11月1日から4日まで、千里山キャンパスで開催された。今年のテーマは「Jump out! 関彩大!!」。これは約3万人の関大生が持つ個性(=色)とそれらに「彩られた」関西大学を千里山キャンパスだけにとどまらず、外の世界に向けて発信する(=飛び出す)という学外交流への強い意気込みが込められたもの。

今年も、多くのサークル及びゼミによる模擬店やフリーマーケットをはじめ、研究発表やステージ企画、著名人による講演会等、さまざまな企画や催しでにぎわいを見せたほか、11月3日には、℃-uteやポール・バラードを迎えてライブを開催し、会場は大いに盛り上がった。さらに2日、3日には、関西大学と連携している自治体・団体が「地域の魅力アピールコーナー」を設置。出展した自治体は岩手県大槌町、大阪府池田市、大阪市北区、堺市、吹田市、高槻市、八尾市、京都府城陽市、奈良県明日香村、葛城市、兵庫県淡路市、加西市、丹波市、福井県、天神橋筋商店連合会、道頓堀商店会(一部は1日のみの出展)で、地元特産品の販売や観光パンフレットの配布を実施した。また、4日の夕刻には、悠久の庭で盛大な「後夜祭」が開催され、フィナーレを迎えた。



1 祭りダンスサークル「漢舞」の演舞
2・3 盛り上がったステージ企画
4・5 地元特産物の販売でにぎわった「地域の魅力アピールコーナー」